

石川地区

設立準備会名称	イシカワ・コミュニティ・クラブ（石川地区まちづくり協議会）			
地区の概要 ※令和2年12月末 住民基本台帳	集落数	13	人口	4,534人
	高齢化率	26.9%	人口増減率 (H17→R2の15年間)	▲0.4%
設立準備会 組織の状況	役員：令和元年度の内会長会 協力団体：地区振興会（各種団体）、町内会長会			
令和2年度の活動	R2	3月	モデル地区申請	
		6月	地区説明会	
		6～9月	設立準備会設立に向けての準備	
		9月～	設立準備会 ・事業の検討など	
	R3	1月	地区振興協議会に説明（35名参加）	
		2月	青年部・女性部に説明	
		3月	本組織設立	
			ホームページ・SNS作成など	
令和3年度の活動 (予定)	①プロジェクト活動 <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動 地区全体での花・花壇運動 ・防災防犯活動 水害訓練、石川地区居住の外国人研修 ・健康福祉活動 有料のエアロビックス・ヨガ教室等(介護予防的クラブ活動、コミュニティゾーン創設)、ふれあい農園 ・生涯学習活動 石川地区夏祭り ②SDGsについての研修 ③地域の発展につながる有料イベント			
準備会・組織運営 活動などの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でコミュニティが取れない状況では、遠隔での対応となり苦慮している。 ・活動内容がわからない等の意見があり、プロジェクト活動にして分かりやすくする。 ・準備会という意識からの低調。 ・各種団体が役員改選されるので、再度周知を図らなければならない。 ・現在、定年の延長、再雇用で65才からでない町内も含め地区活動ができず、人材不足になってきている。 			

山島地区

設立準備会名称	山島地区地域コミュニティ組織 設立準備会		
地区の概要 ※令和2年12月末 住民基本台帳	集落数	18	人口 2,949人
	高齢化率	31.0%	人口増減率 (H17→R2の15年間) ▲14.7%
設立準備会 組織の状況	① 役員 会長：町内会長会会長 副会長：老人会・壮年会・青年部の各会長 監事：美しいまちづくりの会会長 事務局：公民館長、町内会長会副会長 ② 構成団体 町内会長会、公民館、老人会、壮年会、青年部、体育協会、 地区社会福祉協議会、交通安全協会、美しいまちづくりの会、 新しいまちづくりの会 計 10 団体		
令和2年度の活動	R2 3月 モデル地区申請 6月 地区説明会（モデル地区賛同10団体） 7月～ 設立準備会 ・試行的事業、規約、組織構成等の検討 8月 地区説明会（10団体+9団体）※各種団体活動実態調査 10月 美しいまちづくり運動 （公園・こども園等の除草） R3 3月 <u>本組織設立総会</u>		
令和3年度の活動 （予定）	6月 美しいまちづくり運動 9月 安全安心なまちづくり事業（防災訓練） 10月 美しいまちづくり運動 ※市民提案型まちづくり支援事業を発展させ、具体的に 事業を実施していく中で理解を深めていく。		
準備会・組織運営 活動などの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での日程の遅れ ・準備が軌道に乗っていない中での、参加団体長の変更で最初から理解を求める必要有り ・若い世代や女性の参画 		

千代野地区

本組織名称	千代野地区コミュニティ組織（仮称）		
地区の概要 ※令和2年12月末 住民基本台帳	集落数	16	人口 5,465人
	高齢化率	35.1%	人口増減率 (H17→R2の15年間) ▲15.7%
本組織の状況	○役員 会長：元町内会連合会役員 副会長：町内会連合会会長、防犯協会会長 監事：民生委員児童委員、老人会 事務局：町内会連合会（現役・OB）、公民館長 ○構成団体 町内会連合会、防犯協会、交通安全協会、消防分団 防災委員会、体育協会、PTA、こども会など 計20団体 ○組織体制 広報・人材発掘・事業検討の3プロジェクト		
令和2年度の活動	R2 3月 検討会、各種団体説明会、モデル地区申請 7月～ 設立準備会 ※各種団体アンケートの実施、規約案、組織案等を協議 地区勉強会（各種団体で意見交換） 10月 <u>本組織設立総会</u> R3 1月 中学生以上全住民アンケート実施 （※回収は約5,000人中、約3,600人で約72%） 2月 ホームページ試験運用開始～本格運用 広報パンフレット作成 3月 アンケート集計・分析（※入力作業に10名の参加）		
令和3年度の活動 （予定）	4月 総会（名称決定） 5月 アンケート結果報告会 9月 防災訓練（あるいは防災に関する研修会） 5月～10月 アンケート結果を踏まえて事業検討		
準備会・組織運営 活動などの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、大勢が集まる活動がしづらいこと。 ・役員、事務局員は、仕事をしながら各種団体に所属するものが多く、加えてコミュニティ組織の活動を行うのは負担が大きい。 ・地域住民への周知・広報 ・若い人たちや女性への参加呼びかけ 		

蝶屋地区

設立準備会名称	蝶屋まちづくり協議会 設立準備会		
地区の概要 ※令和2年12月末 住民基本台帳	集落数	13	人口 5,759人
	高齢化率	22.8%	人口増減率 (H17→R2の15年間) ▲3.6%
設立準備会 組織の状況	○役員 会長：区長会会長、副会長：区長会副会長、地区社協会長 監事：老人会会長（前・現）、事務局：公民館長 ○構成団体 地区区長会、地区社協、防犯協会、体育協会、消防分団 小学校育成会、こども園保護者会、老人会、見守り隊 桜守の会、公民館、公民館運審など 計14団体		
令和2年度の活動	R2 6月 モデル地区申請 7月 検討会（設立準備会立ち上げ協議） 8～9月 各種団体への市からの説明会（5回） 10月～ 設立準備会、役員会 ・名称の決定 ・地区カルテのとりまとめ、報告 ・パンフレットの校正（R3.4発行） ・組織構成、規約、スケジュールの検討など R3 2月 蝶屋桜まつりの準備		
令和3年度の活動 （予定）	4月 パンフレットの全戸配布 協議会役員の人選 5月 本組織設立総会（役員、組織、規約の決定） 6月～ 防災組織の設立含む各部会の活動準備		
準備会・組織運営 活動などの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の方々のまちづくり組織への認知度がまだまだ低い。 ・思っていることを会議などで発言していただけない。 ・若い人たちの中では余裕がなく、まちづくり活動は暇のある人に任せればよいという考えの方もいる。 ・まちづくりにあまり関心がなく、また自分が所属団体の代表で有ることの責任感が薄く、会議などの参加呼びかけに苦心する方がいる。 ・コロナのせいで各団体の活動が停止している。 ・地区住民代表の意見、総意で協議会組織が動くことの認知と徹底 ・女性・子育て世代の意見の集約方法の検討 ・人材の発掘（事務局作業、広報作成やSNSの活用のため） 		

舘畑地区

設立準備会名称	舘畑地区地域コミュニティ組織 設立準備会			
地区の概要 ※令和2年12月 末住民基本台帳	集落数	16	人口	4,664人
	高齢化率	28.2%	人口増減率 (H17→R2の15年間)	▲3.0%
設立準備会 組織の状況	<p>○役員 会 長：町会長協議会会長 副会長：町会長協議会副会長、公民館運審委員長 監 事：壮年会会長、事務局：公民館長</p> <p>○構成団体 町会長協議会、公民館、公民館運審、壮年会、老人会、 民生委員児童委員、消防分団、交通安全協会など 計10団体</p>			
令和2年度の活動	R2	6月	モデル地区申請	
		7月	町会長協議会説明会	
		7月～	設立準備会 ・準備会予算、事業の検討など	
	R3	1月	広報を全戸配布	
		2月	地域キャラクターの看板設置、シール作成 各種団体の現状アンケート	
			その他、小学校で舘畑じょんがらの指導や地区の歴史を説明している。	
令和3年度の活動 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会（3カ月に1回） ・各町会情報等の資料作成 ・地域見て歩き事業（県ノルディックウォーク協会との連携） ・10月 地域防災の啓蒙、防災体験事業 ・設立準備会活動状況の広報（随時） <p>※R4.4月に本組織設立予定</p>			
準備会・組織運営 活動などの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・準備会の中でも理解度に温度差があり、現段階では明確な組織の目標が共有できていない。 ・新旧住民の地域への意識の違いがあり、組織に求められるものが同じではない。 ・地域コミュニティ組織が目指すべきことは、地域の安全安心をどう確保するかに尽きると考える。 ・若年層や女性の参加促進のための対策 			

白峰地区

設立準備会名称	白峰地区地域コミュニティ組織 設立準備会		
地区の概要 ※令和2年12月末 住民基本台帳	集落数	2	人口 724人
	高齢化率	44.1%	人口増減率 (H17→R2の15年間) ▲36.1%
設立準備会 組織の状況	○役員 NPO 白峰まちづくり協議会理事長が代表、会務統括 ○構成団体 ・NPO 白峰まちづくり協議会が中心を担う (地区内のすべての団体が加入) ・白峰区、桑島区、白峰観光協会、白峰市民サービスセンター 公民館 ○体制 NPO 白峰まちづくり協議会のふれあいづくり、やすらぎづくり、 にぎわいづくりの3委員会を一本化してコミュニティ組織が担う。		
令和2年度の活動	R2 4月 モデル地区申請 6月 コミュニティ組織の規約等の検討 8月 白峰・桑島区役員に説明 10月～ 設立準備会 12月 白峰まちづくり協議会理事会での説明 年度内 <u>本組織設立</u>		
令和3年度の活動 (予定)	4月 事業計画の検討 5月 事業の実施 ・若者を中心にしたプロジェクト活動 ・地区外の人たちとの連携		
準備会・組織運営 活動などの課題	・地区課題を認識していなかったこと ・人口が少ないため役職を掛け持ちすること ・住民への周知啓発 ・高齢化の進展により運営や活動に不安 ・すでに実施している活動との棲み分け、連携		